

南陽市小中学校

# 適正配置等検討委員会だより 第1号

令和6年6月1日発行 検討委員会事務局(学校教育課・管理課)

令和4年度から今後 10 年間の南陽市教育の在り方等を示した『第六次南陽市教育振興計画』に沿って、質の高い学びを目指したよりよい教育環境を充実させるため、児童生徒数の推移や教育環境の変化を踏まえ、学識経験者、地域代表の方々、保護者代表の方々、学校関係者で構成する「南陽市小中学校適正配置等検討委員会」を設置し、市内小中学校の適正規模・適正配置について検討を始めました。

今後、教育委員会において適正規模・適正配置の方針や計画を策定する際の参考とするため、幅広く意見等をお聞きしていきます。



## 検討委員会設置の経緯と概要

全国的に少子化が進行する中で、南陽市の小・中学校の児童生徒数も年々減少しています。小・中学校児童生徒数は昭和58年のピーク時から減少し続け、今後も減少傾向が続いていく見込みです。

またそれに伴い、平成19年度に市長に報告した南陽市立学校の適正規模(小・中学校ともに12学級～18学級を基本とするが、中学校では9学級以上を目指す)に合致しない学校の数も年々増え、様々な問題点が指摘されるようになりました。

そこで、南陽市教育委員会では、今後の教育環境の在り方について、幅広い意見を聞き、適正規模・適正配置の方針や計画策定の際の参考とするため、検討委員会を設置する事としました。

### 【第1回会議の内容】

- ・第1回 南陽市小中学校適正配置等検討委員会 令和6年2月29日開催
- ・主な議事
  - 1 検討委員会の運営・審議の方針
  - 2 今後のスケジュール
  - 3 南陽市立小中学校の現状(人口の推移、施設維持コスト等)

## 検討委員会委員(敬称略、順不同)

次の方々にお願ひしました

・委員長	猪野 忠 (六教振審議会委員長)	
・副委員長	廣居 安子(人権擁護委員)	
・委員	堀 裕一 (南陽市学習支援員)	對間 貴子(学校運営協議会委員)
	竹田 耕平(学校運営協議会委員)	小林 寿子(学校運営協議会委員)
	加藤 由和(R5宮内小学校 PTA 副会長)	川合 和恵(R5 荻小学校 PTA 会長)
	高橋 任 (R5 漆山小学校 PTA 会長)	佐藤 寛介(R5 沖郷中学校 PTA 会長)
	皆川 晃一(R5 赤湯中学校 PTA 副会長)	佐藤 絵里子(R5 中川小学校 PTA 副会長)
	板垣 健 (南陽市小中連合校長会長)	大友 信昭(南陽市中学校長会長)
	井上 謙司(R5 赤湯幼稚園保護者会副会長)	遠藤 百合子(R5 保育園 PTA 母親代表)

## 検討委員会設置での検討事項

今後、主に次の事項について協議していきます。

- ①小中学校の適正規模に関する審議
  - ア 児童数・学級数の将来推計の検証
  - イ 適正規模に関する審議
    - ・1校当たりの標準学級数
- ②小中学校の適正配置に関する審議
- ③小中学校の適正規模並びに適正配置に係る具体的方策に関する審議

## 委員会での主な意見

- ・2040年に南陽市の人口が今より3割減少するなかで、市としてどういう南陽市を目指しているのかを前提として知っておいた上で、学校のあり方を考えていくべきではないか。
- ・人口が減り、子どもが減っていくとしても、子供たちは必ずそこに「いる」ので、適正規模適正配置についても、未来の子供たちのことを一番に考えて話を進めていかななくてはいけない。
- ・今回の話の内容では、何を質問して良いのか、どんな意見を言って良いのかがわかりにくかった。次回以降、南陽市の子供たちをどういう風に教育していきたいのか、どう教育していかなければならないのかという話も聞いて参考にしたい。

～第2回開催しました～

開催日:令和6年4月25日(木)

場 所:南陽市役所 4階 大会議室

内 容:学校教育の将来像等

### 【問い合わせ先】

適正配置等検討委員会事務局

南陽市教育委員会事務局

学校教育課・管理課

南陽市役所 4階

TEL 40-3211(代表)